

一般社団法人 日本ボリビア協会

平成 26 年度(2014)事業計画

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

I. 基本方針：会員増加活動の強化継続

日本とボリビアの相互理解・友好協力関係促進のため、引き続き積極的に様々な分野の事業活動に取り組んでいく。そのためにも会員増加による資金的、組織的基盤強化が重要である。

前期事業報告のとおり 2013 年度中、会員数は若干増加したものの、当初目標の 100 名には及ばなかった。この 1～2 年の活動の成果が少しずつ顕現化しつつある兆しもあり、引続き役員全員で会員の増加へむけて努力を続けていく必要がある。

従って、今期は、従来の自主企画イベント・セミナーの充実・強化に加えて、会員や外部関係者とのタイアップによる加入増加を検討する。

II. 具体的事業

1. 自主企画イベントの充実・強化

(1) A エンターテインメント系 (音楽・ダンス、料理・食材、歴史・遺跡・映画・文学)
参加して「楽しい、面白い、為になる」と感じて、ボリビアに関心を持って貰えるように上記の各分野を組み合わせた企画とする。

女性・若者・シニア層を対象とし、時期は 12 月中旬の X'mas, とする。

(2) B ビジネス系 (現地事情についての最新情報提供と視察—鉱業・農業・観光業)、
自力で現地情報収集や視察が困難な地方企業・中小企業を対象として、実務に役立つ相談・コンサルティングを内容とした企画とする。時期は 10 月又は 1 月頃とする。

2. 会報 Cantuta の充実

発行回数を増やし、年 3～4 回に増やし、内容・デザインのレベルアップを目指して、発行・編集体制を強化するため、外部のセミプロ編集者の協力の可能性も検討する。

3. ホームページの充実

更新を毎月最低 1 回とし、内容・デザインのレベルアップを図る為、外部のセミプロ運営者の協力の可能性も検討し、検索時の常時トップ表示を目指す。また、アクセス状況の分析を定期的に行い、その増加促進策として、維持会員の宣伝広告やホームページへのリンクなども合わせて検討する。

4. 日本人ボリビア移住 100 周年誌『ボリビアに生きる』スペイン語版 “Los japoneses en Bolivia” の国内頒布促進

引受総数 200 冊の 100% 頒布完遂を目標に、ラテンアメリカ関係の学者・研究者、スペイン語が堪能な在日ボリビア移住帰国者、その配偶者や子弟、ボリビア人留学生・研修生などへの周知 PR を促進する。

当協会ホームページ・PR パンフレットへも常時、案内を掲載する。

5. 日本とボリビアの文化、産品、観光等様々な分野の相互理解・交流に資す各種イベント・活動に積極的に協力・参加し、また関係諸団体との連携タイアップを強化する。